京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

春風春水　みどり

▲問ふを止めよ曾禰副統監健全なりやと……而り副統監には世人も知る如く如今春風に翻し春水を眺めつゝ北韓視察の途上にあり、輦中の勞苦余輩大に之を多とす、唯至る所歡迎歡送に多忙ならしめ又多忙ならしめんとしつゝある地方居留民の誠意に對し充分に感謝の意を表せざるべからず、否な唯に感謝の意を表するのみに止まらず至る所人を騒がせ時間を潰さしめたる手前に對しても充分の調査と視察とを遂げざるべからず春畝近侍の官吏を相手に酒を呼び妓を侍らせ持ち前の端唄、都々逸、長唄に梁上の鼠を感心せしむるが如きは英雄雅懷を遣る常として敢て咎むべきに非ざれど、唯策士策に溺れ、蘇人藝に弄ばるゝ底の愚を演ぜざらんことを望まざるを得ず、三年鳴かず鳴かば大に天下を驚かさんとは子の期する所なれば子は歸來と共に大に天下を驚かす底の仕事を仕出來して欲しきものなり、伊公の進退有邪無邪なる今日、天下の人心をして新にせしめ同時に其の歸嚮する所を知らしむるは確に子の責任に非ずや、重ねていふ春風空に薫り、春水溪に流る、此度の行も皆以花見がてらの旅行と洒落られては眞ッ平閉口なり呵々

▲英人ベッセル終に寂滅す、神になりしか鬼になりしか知るに由なきも、兎も角も白玉樓中の人となれり落花憐れに散る北署揚花洞の邊三十余才を一期として無涙の國に入る生前の行爲はサテ措き死んで見れば何となく可愛想なやうな氣もす、而して佛法の句調を以てすれば何れは地獄に行き今頃は閻魔王の峻嚴なる裁判を受け居るならんも併し彼が生前に於て爲したる國債報償の紛爭問題もあれば何れが閻魔王より娑婆への照會の上何とか處分せらるゝなるべし南無阿彌陀佛〳〵

△東拓總裁宣言書を發表す縷々七百二十字要は東拓に對して疑惑を抱き誤想を持せる韓人をして其の趣旨を知らしむるに在り、言々眞摯、句々着實、普通國人に對する文辭としては敢て不可なからんも疑念深く事理に暗愚なる韓人に對する文辭としては餘りに平々凡々たるの觀あり、而り韓人をして心より之が趣旨を悟らしめ總裁の意中を知らしめんとせば今少しく彼等の頭に響かしむる工夫を講せらるゝを要す

●韓米の關東販路　由來韓米は日本關東地方には販路なく又その中には砂礫の多く混入せる缺點ありしが此程名古屋市に於て某米穀商が慶山倭館地方より韓米二百噸餘を輸入し自已の發明に係る器械を以て米粒中の砂礫を取除けたるに頗る良好なるを以て此たび同地の某等數氏合同にて停車場裏(石油會社跡)に名古屋精米所なる大工場を建設し前記の器械を据付けて韓米を精選し博く關東方面に販路を擴張する事となれり

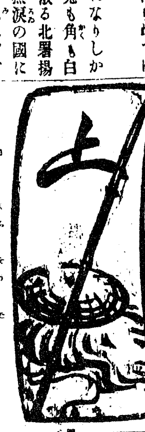
●全南農會の總會　全南農會にては去る三日午後一時より商業會議所樓上に第二年度總會開會せりと

文苑

述懐　片々子

十五年前の今月今日、余は露領に於て一人の親友を亡ひたり、露人數名を雇ひて火葬したりき、余は其骨をビスケットの罐に收めて亡友の家族に渡さんが爲に歸朝せり、亡友の故郷は磐城の平町也余は帆船の便によりて函館に來り、其夜直に連絡船により青森に航し直に滊車に搭じ亡友の骨を枕にして眠れり、俄然轟音を發して車室震動す、眼を開けば車室は既に横はれり轉覆々々の聲四方に起る、果して列車は軌道を逸し汽罐車及前方三四の車室は轉覆して慘憺目も當てられず、此所は何處なりやと問へば仙臺を去る五六里大河原也と、未明宇都宮より來る列車に乘換へて東京に着し、直に友人の許を訪づれば何ぞ計らんや友人透谷庵北村門太郎君芝公園にて縊死せりと噫々不幸に接する事何ぞ多きや、余は十五年前の今月は二人の友を失ひたりき、毎年五月には回想して斷腸の懷あり、余の如き窮祖漢は未だ頑健にして四方に漂浪す

佐倉宗吾　(七十一)　眞龍齋貞水講演



此處で愈よ一百兩と云ふ金子を、圓珠院様が宗五郎に御手渡し下さると　宗「ア、御年齢は老かないが、叡山から東叡山へ御招きを崇る程の圓珠院様、四十にまだ御手が屆かぬ内に、大僧正にも成らうと云ふ、其尊い御方が、直訴の御手引をして下さるのみか、死を決した此宗吾の心を哀み下され妻子にまで逢はせて下さるとは、何たら情け深き事であらう」と胸に問ひ、腹に答へて、ハラ〳〵落涙をする内に、鷄鳴曉を告げ、圓珠院様は御自分の御座敷へ御引取になり、愈よ小坊主に申し付け、小使を喚んで、坂本の井筒屋五郎兵衛に、内々會いたいと云ふ事を申傳へになりました、そこで小使の吉兵衛が　吉「御免よ　五「イヤ斯りや凌雲院様の吉兵衛さん、御苦勞様　吉「あの御手代り様が、親方へ内々會いたいと仰つしやるから、希ぞ直ぐに來て下せね　五「へ、へホ、ホー、何ぞ急な御用でございますか、宜しうございます、御手代り様が私に……唯今直ぐに衣服を着更へて往きます　吉「そりや親分、直ぐに御出で下せね　五「へ、畏りました、吉つアん、又この二十日は愈よ將軍様の御成りで、隨分御支度等がございませう　吉「イヤもう其事が故か、大分山内から外へ御使に出ますよ　五「然うでございました、今直ぐに往きます、是から井筒屋五郎兵衛が　五「イヤ、今なんだ、御手代り様から急に御迎ひが來た、一寸往つて來るから衣服を出してくんな　登「オヤ然うですか　五「御手代り様の直接ださうだ、些たア重い御用かも知れねね　登「然うだらうね、御手代り様から御自身に喚びに御遣しなんて　五「本統だ、ア有難てゐ事にや、上野の笠を冠つてるから、此五郎兵衛は今ぢや斯うして暢氣に暮してゐるやうな譯だ、上野からの御用は何事であらうと、ズン〳〵往かにや成らねね……皆な指ね所後……

親方五郎兵衛は上野へ來り、凌雲院様御手代り圓珠院様へ參りますと　圓「ア五郎兵衛か此方へ來てくらつしやい」五郎兵衛は何事かと思ひまして圓珠院の御居間らかく進みますと、圓珠院様御衛圖の上へ御座りになつてゐる、何しろ此方は、御出入の駕籠屋であるから、椽側へ手を支へ　五「へー　圓「五郎兵衛此方へ入れ、苦しうない、……すから　五「どうも恐れ入ります、雖然御使を下し置かれましたが何の御用向でございましたか　圓「イヤ他の事ではないが、其方を男と見掛けて頼むが如何ぢや諾いてくれるか　五「エー私のやうな者を男と見掛けて御頼みとは恐れ入りましたが、一体御用は何う云ふ事でございませう　圓「外の事ではないが、もそつと此方へ寄つてくれ　五「ハイ　圓「噂には聞いてゐるかは知らぬが、當大僧正の御情けを以て下總の國印旛の郡佐倉の堀田上野介領分百姓が、收立の厳しき所から難義に及び、江戸表御上屋敷へ御門訴を致したるも屆かず再び御大老へ御駕籠訴いたしたるも、是も屆かず、凌雲院様御情けで當寺へ預り……、公津村の宗五郎と謂ふ名主があるのぢや　五「ハイ　圓「所が是が、御大老様や凌雲院様、また御隱殿様の思召も、皆な無なに成るか成らぬと云ふやうな場合に成つて居るのぢや、それで何うかして工風を致し、皆様方の御心配下さる事も、屆くやうに致したいと存じて居るのぢや　五「へ御道理さまで　圓「就いては其宗五郎に此度故郷に殘し……と云ふ此方……考へであるか、……公津村まで參つて妻子に會はせ、復たこの上野へ首尾よく歸るやう致してくれまいか、隨分道中の詮議が厳しいさうであるが其堀田役人の嚴しき所を無事に送り屆ける事が出來まいか、是が其方への頼みぢや　五「旦那様宜しうございます、御引受いたしました。



（東京上野凌雲院）

京城新報

治外法權撤去交渉

頃者東電の報ずる所に依れば帝國政府は訂盟列國に對して韓國の治外法權撤去の交渉を開始したるものゝ如し、韓國の治外法權撤去は伊藤公の夙に提唱する所にして而も之を完成せざれば辭任せずと迄放言したるもの也、今や其準備漸く成りて交渉を開始するに至れるは韓國啓發の爲に最も喜ぶべき事なりとす

從來韓國の文物制度は文明國の制度と相去る甚だ遠く、外國人の生命財產を安全に保留する能はざるを以て、治外法權の必要ありしと雖も、帝國の保護國となりし以來着々諸般の制度を改善し、現時に於ては兎に角外國人の生命財產を保護するの機關は略ぼ備はれり、今に於て帝國政府が列國に對して撤去の交渉を開始せるは將さに時機を得たるもの也

今更に言ふ迄もなく治外法權を撤去せんとするには諸般の制度を整備して外國人に安心を與へざる可らず、而して外國人に安心を與ふるに最も切要なるものは、裁判、警察、監獄の三制度也、然るに保護政治の進歩と共に此三制度は將さに整備せんとす、裁判の如きは最も進歩せる三審制度となり、裁判官の要部に居るものは日本人也、故に日本の裁判に信用を置くの列國人は今日の韓國裁判に信用を置くに躊躇することなからむ、警察制度亦然り、素より完全無缺と云ふ能はざるも、現時の程度に於ては世界各國の警察に較ぶるも遜色なからん、是亦外國人は安心して可也、監獄は未だ完全ならざるも既に模範監獄の豫算迄計上せられ居るを以て近き將來に於て必ず安心を與ふるに足る設備を見るに至るべし

要するに韓國現時の裁判、警察は所謂伊藤式にして余輩より之を見れば現在の韓國には過ぎたるもの也、未だ韓國現時の狀態を見ざる列國人には想像する能はざる程に此兩制度は備はれり、列國が帝國政府の交渉に對して如何なる態度に出づるやは知らざるも現狀を知悉せば必ずや應ずるに躊躇せざるべしと信ず、元來治外法權の撤去は獨り韓國の利益なるのみならず、在留外國人の爲にも利益也、假令ば納稅の義務を盡くす場合には韓國政府に向つて作居上、營業上其他種々の要求を自由になすことを得るにあらずや、而して口に韓人の指導啓發を叫ぶも今日の如く在留外人と韓人と離隔しつゝありては眞の啓發は爲し得可らず、故に治外法權の撤去により此障礙を除却し以て韓人を啓發すれば政治、經濟は勿論其他總てに於て長足の進歩をなさむ、果して然らば治外法權の撤去は啻に伊藤公の統監政治の終りを修飾するのみに止らず、韓國開[illegible]

東京電報

▲進歩黨と遊說

進歩黨改革派中日糖事件に關し多數の醜類を出せし爲め氣勢大に揚らず而も非改革派は此の機を利用し各地に大遊說を試み黨勢擴張に力むる方針にて幹部員は連日旭館に會合して熟議しつゝありと

▲韓人醜業婦送還

韓人醜業婦三名上海より門司に送り來り同市水上警察は直に韓國に送還せり彼等は日本人の名前を僞へ居れり(五日發)

▲東京支社の引揚

東拓會社東京支社は本月五日限り京城に引上ることに決定せり(五日發)

外報一束

●英國財政改革

一千九百八十九年度の實現不足額は七十一萬四千磅にして不足總額一千六百五十万磅に上る同豫算に據れば勞作に依て得たる所得も三十磅なれば稅率二片を增し勞作に依る所得にして五百磅以下のものは納稅者の小兒十六歲以下のものゝ數に從ひ遞減を行ふべし又た五千磅以上の所得に對しては六片の附加稅を課し且つ死亡及び相續稅を釐革して三百九十二万磅を生ぜしむる由

●土國新內閣成立

テウフキツク、パシヤは愈新內閣を完成し自ら大宰相と成り

●日本紡績の警戒

米國マサチユーセツツ州知事ドレーバー氏は日本紡績業の發達、其の東洋市場に於ける競爭及び日本勞銀の低廉なるとに就き米國紡績業者に警告する所ありと

●和蘭皇女と獨帝

獨逸皇帝は今回御降誕せられたる和蘭國皇女の洗禮式に自ら名親たらんことを申出でられたり

●印阿の通路開通

阿富汗土族と印度との紛議のため一旦杜塞したるカイバル山道(印阿國境の山路)は阿富汗王の友誼ある行動により再び開通を見るに至れり

雜報

●地方費規則の審了

內部法令審査會にて審議中なりし地方費會計規則は五日を以て全部審了したる由にて近く度支部と協議の上發布さるべしと云ふ

●副統監の消息

曾禰副統監は四日午後六時巨文島着五日午前十時濟州島着今六日午前九時木浦に着すべしと其の筋に電報ありたる由

●東拓と荷爲替方法

東洋拓殖會社が荷爲替の取扱業を爲すべきことは既報の如くなるが今其の內容を聞くに爲替を取組むべき物品は農產物又は獲得物(水產業より得たる魚類の如きもの)にして鐵道船舶又は運送業者に委託せられ且つ確實なる保險附のものに限る筈にて此の場合には貨物引換證又は船荷證券及保險金請付承諾書を契約書と共に取組の際會社に交付し荷爲替金額は其の時價の十分の七以內にして保險金額を超過し得ざる筈なりと云ふ

●東拓株主總會

東洋拓殖株式會社第一回株主定期總會は本月二十二日午后一時東京市麴町區有樂町一丁目東京商業會議所に於て開催し左の事項に付決議する由なり

第一 事業報告書承認の件
第二 財產目錄承認の件
第三 貸借對照表承認の件
第四 損益計算書承認の件
第五 利益金分配案承認の件
以上

●伊公と山縣公

東京の新聞紙中には近頃伊山兩公の間柄面白からず或は一大葛藤を生ずべしなど書き立つるものありそれかあらぬか山縣公は此頃は何事も伊藤公に持ち出し居らず特に韓國問題に至りては山公の最も避くるところなり他の一方に伊藤公は案外の得意にて當分動きさうにも見えず尤も昨年春頃山縣公自ら退き伊藤公を樞密院議長たらしむべしどいふ議論も出でたるとありたれども桂內閣となりて彼は是れも立ち消えとなりたり而して今日に至り桂內閣に快からざる邊より切りに伊藤公を長く韓國に出し置くは不可なりといふ議論出で來れり此の深意を解するものは則ち昨春の樞密院議長說の根本を會得するならんかと大每子は報ずるまゝ

●總裁の驛屯土視察

既報宇佐川東拓總裁は昨五日松平子、野田及趙鎮泰の三監事と蠶島に到り同地附近の驛屯土を巨細に視察し又模範場にも立寄りたりと云ふ

●平壤病院へ下賜金

韓皇西韓巡幸の際下賜金あるべき筈なりし平壤美以敎會に屬するミセス、アール、エス、ホール設立の病院に對し今般金二百圓の下賜金ありたりと

●社寺取締と出張

宋內部社寺課長及柿原主事は京畿、平安兩道社寺取締の爲め出張を命ぜられたり

●東拓監事滯在數

先日入京したる東拓會社の理事松平子及野田の兩氏は滯在凡そ一周間の豫定なりしも調査事項の繁多なる爲め尙數日の延期を爲すべしと

●商議所會頭の交迭

韓人側商業會議所にては去る一日臨時總會を開きて會頭の改撰を行ひたるが舊會長金基永氏の後任として趙秉澤氏其選に當れり

●北淸駐屯軍撤退

軍機大臣世續外務部尙書梁敦彥は英、米、佛三國の公使を外務部に請じ、北京天津一帶に駐屯する軍隊の撤退に關し交渉を開きたるが三國共格別の異存なく大体に於て協議巳に纏りたりと云ふ

●南浦馬山水道計畫

鎭南浦及馬山に於ける居留民團は水道敷設の計畫を立て過日其設計方を內部水道局に申請し來れる由にて內部にては官費を以て測量設計を爲す方針にて其經費は目下度支部と交渉中なりと

●金融組合と補助貨

舊白銅貨は愈々五月末を以て通用期限滿つべきにより地方にては之れが爲めに補助貨の流通に必迫を來すべきを以て今般支部は新補助貨の流通を圓滑ならしむる爲め地方金融組合の出願に應じて一組合に對し新補助貨二千五百圓宛を無利息にて貸下可と云ふ

●軍司令官以下參拜

本日和城臺に於て招魂祭執行に付大久保軍司令官西島師團長以下將校百十五名下士以下九百五十五名參拜する由尙民團よりは將校へ神酒を開き折詰を供し下士以下へ冷酒を饗する由

●局長會議諮問案

漢城財務監督局に於て開會中なる金融組合理事會議は三日を以て會議を終了したるが監督局長よりの諸問事項は左の如し

一、現在各組合業務區域の廣狹及其適否
二、貸付金に對する注意監督の方法及回收の狀況如何
三、回收不能又は困難なる貸付金擔保の處分方法如何
四、委託販賣倉庫保管共同購入の業務を進捗發展せしむるの方法
五、貸付利率及保管料の最高最低の範圍を一定するの可否
六、組合費徵收の方法及其組合員に及ぼす影響
七、地方特有產業及副業の狀況及其開發に關する意見
八、動產擔保貸獎勵の方法
九、不動產擔貸の擔保方法如何
十、貸下金運用方法及其結果如何
十一、組合員の組合に對する意向及信用程度
十二、組合員信用調査方法
十三、信用貸の種類責任限度を問ふ

●南韓製莚會社現況

本年一月其筋より認可を受けて製莚業に從事せる日韓人合同の同合資會社は資本金三萬圓にて農商工部より每年一千圓宛三年間補助を得る筈なるが今其の模樣を聞くに職工は悉く韓人を以てし莞草にて疊表、花莚其他之れに應用し得る物品を製し居れる由にて韓人職工の技倆は近來大いに見るべきものありと

●改良工事と試乘

統監府鐵道管理局に於ては豫て工事中なりし京仁線改良工事竣成したるにつき十六日京仁龍の各紳士夫人を招待し試乘を乞ふ由尙當日京仁間に臨時列車を出し午後三時より仁川萬石洞に於て園遊會を催さんとの準備中にて近々案內狀を發すべしといふ

●日韓人親睦會次第

既報日韓人親睦會は來る十六日(第三日曜)午後二時(雨天順延)より西大門內景照宮に於て開會すべきことに決定したるが當日會場入口には日韓兩國々旗を交叉し會場は萬國旗を揭げて之れに裝飾する由にて午後二時開式、發企人の挨拶ありて會長、副會長及評議員の選擧を爲し三時より日韓料理の模擬店を開く筈なるが其間煙火、日韓藝妓の舞踏及會員の綱引旗取競爭其他の餘興あるべしと尙會費は五十錢にして參會希望者は十四日正午迄に事務所へ申込むべしと

●日韓人親睦會々則

十六日景照宮に於て催さるべき日韓人親睦會々則左の如し

第一條 本會は日韓人親睦會と稱す
第二條 本會は日韓人の親和を圖るを以て目的とす
第三條 本會は每年春秋二季親睦會を開催す
但會場及日時等は評議員に於て之を定む
第四條 本會に會長一名副會長二名評議員若干名を置く
第五條 會長及副會長は大會に於て推薦し評議員は會長の推薦に一任す
第六條 本會の經費は會員の會費又は寄附金に依るものとす

●軍港內の漁業條件

軍港境城內の漁業許可に關しては農商工部大臣と軍港司令官との間に交渉中なりしが鎭海灣要港地帶に於ける免許漁業に關しては當局者間に左の如く協定成立したりと云ふ

一、軍港內の免許漁業に就ては處分の都度農商工部より防備隊へ交渉すること
二、同地域內の許可漁業に就ては豫め司令官の承諾を得たるに就き處分の都合一々交渉せざる事
但漁業法第九條第二號の漁業は同灣內の一定地域內に限り絕對に許可を禁止す
三、漁業の許可狀には軍港境域內の海面漁業たる事を表示する事
四、漁業を許可したる時には其都度漁業の區域種類氏名其他必要なる事項を防備隊に通報する事

●傳染病豫防訓示

內部大臣は漸次夏季に向ひ傳染病發生の恐あるを以て淸潔法を勵行し相當の豫防法を講すべき旨昨日各道觀察府に向け訓令を發したりと

●本溪湖問題解決期

本溪湖炭坑問題に就き小池總領事は去二十八日徐總督に會見し種々協議する所あり同日北京より同炭坑調査の爲め瑾委員來奉したるを以て奉天鑛政局委員と直に本溪湖に出發することゝ爲りたる旨其筋に報告ありたるが右委員の調査に依り大倉組が同炭坑に放資せる金額の決定を見る筈にて課稅其他の諸問題は既に略協定せられあるを以て本問題は遲くも來る十日前後には全部の解決を見るに至るべしと

●安奉線路上の警戒

過日高麗門湯山城間の安奉線路に妨害を加へ破壞せんとなせし曲者ありしを以て守備隊より下士以下三名を派し現場を搜索警戒せしも何等の手懸りを得ざりしが守備隊に於ては尙は右兩驛間を嚴重警戒する筈也と

●窪谷警視の任地

窪谷警視は佐賀縣警察部長に任命されたる事を命なりと

●蠶業傳習所補助金

三浪津蠶業傳習所の請願に係る韓國政府の補助金は過日理事廳に於て農商工部より本年度金三百圓、三ケ年間繼續する旨公達ありたりと

●大邱金融組合狀況

大邱金融組合前月中の成績左の如し

貸附高五百四十五圓、回收九十二圓十五錢、利子五十圓、口數百九十四人

●馬山浦の水產業

馬山には總資本金二萬圓の馬山水產株式會社ありて魚類の競賣營業をなし又朝鮮海水產組合馬山支部ありて近海の漁場の巡邏警戒をすると共に漁業出願者の便宜を計り居れば比較的水產業の振興せるものゝ如し又同地には韓人側の施設せる魚市場及び乾鰮會社等あり

●馬山昨今の市況

各地とも經濟界不振の今日なれば殊に當地に限り不振と云ふにあらざるも昨今の市況は稍々不況の狀態を來たし何れも善後策に困し居るものゝ如し

●學務主事の赴任

第一回任命の學務主事九名は一昨朝夫れ〳〵任地へ赴任せり

●四月鐵道乘車人員

四月中鐵道管理局に於て取扱居る乘車人員は合計十五万千九百九十三人一日平均五千六十六人又發送貨物は噸數合計五萬四千三百八十二噸一日平均千八百十三屯なり

●寄贈書籍無賃輸送

內國通運會社京城支店長菅谷氏は今後日本及韓國鐵道沿道各地より京城文庫に寄贈の書籍は總て無賃にて軍送することの契約を爲したりと依つて今後同文庫に書籍を寄贈せんとせらるゝ人は運賃先拂にて發送せらるゝも差支なしと

●募集巡査の着京

嚢きに內部警務局が熊本、廣島兩縣に募集したる巡査五十名の內二十二名は一昨朝着殘り二十八名は鎌田警部引率の下に昨夕着京せし筈にて來る十日頃巡査敎習所へ入所すべしといふ

●港頭整理着手期

釜山稅關山、舊英國領事館山切取大工事の着手期は來る六月一日なりと

●韓國旅行團出發期

三河新報社主催の韓國旅行團は出發期を延引し居りしがいよ〳〵本月末か六月上旬には出發すべしと

●露國領事の出發

在元山露國領事ピリコフ氏は過日來退京中なりしが昨日當地を出發して長崎に向ひたりと云ふ

●第一銀行の招宴

第一銀行にては各財務監督局長の入京を機とし親睦の爲め今六日午後六時より花月樓に招待會を開きたる由なるが當日は主人側たる三島、竹山、木村の三氏の外に度支部より鈴木局長、吉松、佐々木、藤川、蔡原及久芳の各書記官も參列する筈なり

●監督局關係者懇親

小林財務監督局長の主催にて目下來京中の地方金融組合理事及監督局員、度支部理財局の該組合監督官吏の懇親會を一昨四日淸華亭に開きたり

●石川技師の送別會

鐵道管理局建設部長石川石代氏は十二日出發渡歐に付石塚參與官三浦理事官熊谷民長發起となり來る七日午後六時半より花月に於て送別會を催す

●切下工事落成式

新町下より四軒町に通ずる阪路切り下げ工事は此の程漸く落成せしを以て來る八日午後二時より奬忠壇實六庵に於て落成祝ひを爲すべしと

●高野山の大法會

本町九丁目高野山に於ては來る九日十日の兩日は舊三月廿日廿一日に相當するを以て宗祖私法大師正御影供大法會を執行する由當日は例年の通り接待あり兩日共午後一時同七時より法樂說敎詠歌和讃回向等ある筈定めて參詣者多からん

●ベツセルの追弔會

韓人姜允熙、金允三、林炳恒等の發起にて五日午後三時より東門外の永道寺に於てベツセル追弔會を開きたるが來會者數十名ありたりと

公人私人

▲森本俊之助(水原林業事務所長) 四日入京三日月
▲面高慶之助(島根縣水產技師) 同上浦尾
▲坂東榮次郎(忠北警察部長) 四日歸任す
▲松田鉞助(稅關鑑定官) 同日仁川へ向ふ

近事片々

▲國祖 檀君鷄龍山より出で來らんと近頃無智の韓人等言囃す韓人の風說には呆返る
▲擅君は韓人等が豫言者とし國祖として今尙崇拜す而も其人が鷄龍山に生存せりと
▲なる若生前豫言して曰く末世に國亂る其時我再來せんと今は卽ち其時なりと
▲惟ふに是排日派の作說ならんも無智の輩は之を信ずる者有と儲も濟度し難き奴輩
▲會闢 副統監釜山にて歡迎會に石原民長の歡迎及要請に對しての答辭は頗る面黑し
▲一見したる所は頭腦に一々記入したり
▲民長の希望は實見の上自分の意見を定めん
▲今夕は厚意に對し充分頂戴せん酒中或は亂暴に流れん豫め一言斷り置く次第也と
▲要領を得たるが如くして得ざる所は飽迄會闢式也酒中亂暴云々昔日の蠻的面影有
▲何を爲しても伊藤公とは頗る趣を異にす斯くして不得要領の中に地盤を堅むる乎
▲伊藤 山縣の反目云々の說東京の新聞に揭げらるゝ余りに穿ち過ぎて信ぜられざる也
▲山縣公が伊公に打付に統監政治の失態を批難したり杯は到底實際に有り得可らず
▲假令 山公腹の中で伊公統監政治に慊焉たらざるも面と向て攻擊するが如き事なし
▲然るに斯る說をなすは何者の狡見が爲にする所ありて流言を放ちたる者なるべし
▲實際 山公は措て桂侯や寺內伯等が伊公の統監政治面黑からざる感を持せるならむ
▲桂大頭侯は頻に家康に私淑すとの事なるが或は然らむ群雄統御の筆法稍々同一也
▲其性 情聊か腹黑き所も稍似たり唯其器家康に比して小也隱忍術數は或は優らんか
▲併し日本現時の政治家には家康よりも寧ろ家光を要す桂侯夫れ更に明哲果斷なれ
▲天狗の松平及臣雲平の徒大坂に護送せられたり屠場會社の醜事暴露の結果なりと
▲獸類の皮剝が人間の皮を剝ぎたる爲乎然らば今度は自分等の面の皮を剝がるゝ乎
▲東京本所に怪猫現はれ市人の膽を寒からしめたるも終に新發明の箱罠に掛れりと
▲怪猫 多藝猫は襟を被り或は箒を以て巧に踊る醜代議士の羊皮を被て踊ると同一模型



●余が觀たる天理教(一)

柳江生

はしがき

天理教とは甚麽ものであらう、教祖とは誰を指すのであらう、一列すまして甘露臺とは何の意味であろふ、更らに、悪しきを拂ふて田を買り玉へとは何の事であらう、あれで教師は國家教だと云つて居る、あれで信者は有り難いと云つて居る、あれで管長は世界教だと云つて居る、僕は天理教の信者でない限り、教師でもない限り、有り難いとも思はねば國家教だとも世界教だとも邪麼ことは構ひなしであるが、唯た信者教師が打交つて、譯の分らぬ歌を唱ひながら、可笑しな手振をして踊るのを見ると、何となく面白いと思つた、面白いと思つた結果が研べて見たいと思つた研らべて見た結果が、即ち此の「予が見たる天理教」で、素より勝手な觀察ではあるが、邪と見たか、正と見たか、明日以後の紙上より順次に之を掲載する事とせう。

●ぶらつ記(二)

ぼく

三日、雨る、出です、雨に怯れたるに非ず泥濘に足どらるゝを怖れたる也。

四日晩餐を喫了す、如例漂々然として出づ怡然として鉋屑の風に吹かるゝが如し。龍山方面に向ふ、仰ぎ見れば雨雲徂徠して夜色慘たり、露は兩街の燈影を罩め、燈光風に瞬ひて明滅、宛も漁火の點々たるに似たり。

特に南大門を右折す、職務に勵精なる査公の一喝を煩はすの無禮なからんことを期して也。

南大門驛前を直線に、左折して軍司令部前を桃山に向つて進む、獅子奮迅の勢ひを以て也。一路坦として砥の如し。路の兩側には各々樓名を記したる街燈を灯し列ねたり。これやこの色を慕ひ、香によるる色餓鬼ざからぬ道に踏み迷はすまじとの心盡し、有り難の世や。桃仙閣樓上、絃歌湧き、歡聲濃[illegible]何にをか祝し、何にをか壽ける。

遊廓内に入る、此の一刻一金の春[illegible]只此の心なの素見客の跋扈にのみ委し[illegible]て可也や。遊子決せざるべけんや。

紺の前垂松葉を染めて、松にこんどは憎らしい

誰が家の女ぞ此の古調を吟む、久しく聞くに堪へず、愴惶踵を回して旭橋通りに出づ[illegible]ット物蔭より我れに近寄る人あり、女也[illegible]猶語く「れ遊びなさいナ」と默せる我れ[illegible]袂を引く「チョート何んとか仰言いな」答ふる限りに非ず。

元町裏通りなる萩の家附近に差しかゝる、「アレー」悲鳴は間近なる格子づくりの、一枚開きし窓の内より聞ゆるなり、北海樓とか云ふ料亭の酌婦に逆上た亭主の胸ぐら、取つた其の手を捻ぢ上げられ、悔しさ痛さ悲しさに依りて件の如き譯と判つて見れば何んともなし。

一つ、二つ星が墜ちた、アノ星の戀、美しい情死。

●未練男の髪切騷

▲離た女房に姦通呼はり 廣島縣佐伯郡大竹村字下市越水ゑい(三十)と云ふは龍山板倉町四番戸理髮業兒玉富次郎の内縁の妻なりしが夫の虐待に堪へず四五日前合意の上離縁したるがゑいは寄るべき家もなきまゝ差當り曾て面識ある京城本町一丁目野田理髪店方山本某の許に身を寄せしが元より猫に肴を與へたるが如き者なればゑいと山本とは其晩より情を通じたるを早くも先夫の兒玉が聞き込んで一昨夜職業用の剃刀を携へて山本方に至り已れ姦婦覺へて居ろとゑいが頭髮を掴み髷元よりプツリと縁りの黑髪切り落して遁走したるがゑいは憤慨の餘り殆ど半狂亂となり斯くも侮辱を與へられた上は最早生きて甲斐なき身なれば鐵道往生を遂げんとて飛出さんとする所を家人の訴へにより本町派出所の前川巡査が出張して一先づゑいを南部署に連れ歸り其知人なる當地古市町一丁目十番戸下平米松妻つるに托して引取らしめたりナンボ商賣が散髮屋なりとて女の髪を切るとは商賣違ひ否心得違ひと云ふべし

●壽座の大改築

▲模範的劇場となさん 當地壽町三丁目なる壽座は劇場として最も古き歴史を有し殊に此附近の繁盛は同座が其運命を支配せる有様なるが同座の建築は所謂居留地創設時代の建物にして不完全なる點は免かれざりしかば是を奇貨とし種々仲傷を試むる者もありしが座主古迫角太郎氏は大に奮發して同座の大改築を行ひ京城に於ける模範的劇場たらしめん考へにて近々工事に着手する筈なりと云ふ

●強盗の捕縛

仁川署管内江華島居住金東守(四十)と云ふは去月二十八日江華府内に於て強盗の嫌疑を以て捕縛せられ直ちに仁川署に護送せられ其後取調べを受け居たるが遂に一伍一什自白に及びたる處に依れば右は暴徒の首魁池洪一の部下朴詳玉と共同して同島吉詳明、立川済方に強盗に押入り短銃を以て家人を脅迫し尚其他數個所にて金品を強奪したる不敵の曲者なること判明したれば仁川署より一昨日裁判所に護送したり

●樓主へ説諭

仁川警察署にては市内及猫島に於ける料理店又は飲食店等にては近來恰も妓樓の如く店先きに醜婦及び仲居を陳列して通行人を引込む等遊廓以上の行爲あるを以て昨日各店主を呼出し路上より見易き場所に酌婦を置かざること及び通行人に對して絶對に飲酒を勸誘せざること等嚴重なる説諭を加へたり

●爆薬を携ふ

仁川署刑事が昨日午後三時頃宮町三丁目を巡行せし際年頃四十計りの怪しき風体の男徘徊し居りたれば直に捕へ引致の上取調べたる所右は兵庫縣養父郡生れの田瀧貞次(四十)と云ふものにて所持せるダイナマイト五十發雷管五百寫眞器械インバチース時計等は皆贓品の嫌疑あるものゝみなれば拘留十五日に處し目下取調べ中なりと

●電柱を折る

仁川萬石洞阪川汽船方居住三浦政一と云ふが一昨日午後三時頃宮町二丁目にて馬を繋留せずして荷物を積み居りたる所馬は何物にか驚いて宮町一丁目の方に驅進し四辻街路にて電柱に衝突しこれを折りたるか他の人畜には負傷者を出さゞりしか一時は目抜きの場所にて大騷動なりしと

●廿一歳の迷兒

島根縣美濃郡鎌手村篠原みつ(二十一)は去る四日初めて入京し南大門通二丁目澄川藤吉方の借家に居住せる者なるが一昨日入浴に行きたるに途に迷ふて我家に歸る能はず止むなく警察署に此旨願出でしかば巡査はみつを保護して右澄川方に連れ行き引渡したりと

●店先で醜行

仁川寺町齒科醫方居住寺田きん(二〇)と云ふは昨日午後三時頃仁川宮町三丁目理髪店吉川勘三方にて同人と共に日中街路通行人の眺むるも構はず見るに忍びざる巫山戯方をなし居たれば巡行中の警官より大目玉を頂戴せり

●無錢飲食二人

仁川京町二丁目秀島利三郎方雇人金城準道(三七)及び南海郡道雇人金榮武(二四)二人は一昨日午後六時頃京町二丁目飲食店長蒲とみ方にて二圓八十錢の無錢飲食をなしたるより巡査の出張を煩はしたるが結局所持品を抵當に置き[illegible]支拂ふ事に話纏まり放免せらる

●喪が原で喧嘩

仁川龍岡町三丁目齋藤安藏は一昨日正午頃支那人李貴守と云ふが無斷にて飛便を汲み取りたるを[illegible]割木を以て毆り負傷せしめ警察沙汰に及びたるが結局五十錢の治療代を出して事濟み

●朝鮮敷島の檢梅

仁川朝鮮敷島の韓妓に對し一昨日定期檢梅を施したる處五十名中沈滯を要する者一名不參者三名他は無事

●深川樓君江の廢業

仁川敷島遊廓深川樓の君江は昨日廢業屆を出したりと一寸涙れ親類にまで注進に及ぶ

●銀側時計を拾ふ

仁川寺町一丁目小今井きくと云ふは仁川寺町にて銀側懷中時計を拾ひ直ちに其筋へ屆出でたりとは感心

●法務院の公判

明七日法務院の公判は刑事(午前十時)姦通永野梅市、賭博高杉[illegible]、詐欺松村左一の三件なりと

●金水舍のラムネ

大和町二丁目製藥所長渡邊藥劑師は昨年の通り純良なるラムネ及蜜柑水の製造を開始し廉く販賣する由

演藝界

▲永樂亭 は曩に壽座にて好人氣を博したる竹本一昇一座の大阪淨瑠璃を昨日より開演したるが本夜の語物は左の如し 腰越状(完)れ七(小富士)日吉三(圓朝)壺阪(輝美)御所三(一昇)布四(梶登)

▲壽座 は昨日より盛覽團一座の新派劇にて開場本日の藝題は九州土產「孝子の仇討」にて重なる配役左の如し 嶋津三郎(松村)同正房(小柳)同花子(藤原)都御之助(篠田)佐伯警部(阿部)島津長左衛門(高山)北上五十嵐(富士見)櫻井金吾(中村)藝妓春吉(小堀)坂場長吉(田宮)

▲京城座 は相變らず梅花美團で打續け

▲御園館 今回龍山大島町に新設されたる同館は美根松一座の源氏節にて去る三日より開演

▲横山研太郎 北村生駒一派に加はり渡韓せし横山研太郎は群山地方に赴き居りしが頭目新派劇準會なる一團を組織し目下水原にて興行中なり

▲歌舞伎座 は今明の兩日開博多二輪加を開演し非常の好人氣なりと云ふ

▲音樂會 京城ホテルに於て昨今兩日開會入場料は一人五十錢宛なりと



投書中偽無用のこと
小便も亦御斷り申候

▲總角生君來韓確に落手せり、君の執るべき手段は彼れ以上にはあるまい、然らば前途の光明に向つて猪突すべし後顧の憂あるべからず君のは悶ゆべからざるに悶ゆる[illegible]の悲觀する[illegible]前途を見届ける[illegible]其不幸に深く同情に堪へません(小僧)▲長崎縣西彼杵郡[illegible]京者よ一つ奮發して縣人會を組織して[illegible](深堀[illegible])▲私は二三日前京城へ參りましたが[illegible]等クヨクヨ案ずるなぞそんな女々敷事では駄目ですよ總角生君ッ、一番奮勵し給へ君の母君も國を斷つの概は無くとも決して蹉生夢死を強ひられるのではあるまい序に小僧君の一顧を煩はす(齋藤生)▲夫れも善からう併し田を耕し濃粉いで穀物野菜を培ひ養ふのも大なる奮闘であることを忘れてはいけませんよ(小僧)▲二日の午後二時半頃太平湯へ夫婦連れで入浴に來たすご嬶が女湯から男湯へ這入つて來て御亭に背中を流さして居たが餘り体裁の宜いものではない(獨身者)▲ハヽヽ、妬くな(給仕)▲韓國の氣候不順には驚いた私は廿三才の今日迄病氣らしい病氣に罹つたことはなかつたのに、今年は既に脚氣で困つて居ます皆さん御要心(關東生)▲ヨボ巡査が日本人巡査に敬禮をせぬのは官制が惡いのだ同じ卒でも一等卒、二等卒と云ふ風に別けてある軍隊の様にすれば文句はないのだ(堂太)▲市内の各料理屋の二階より醉客が表へ向つて放尿するには實に行人の迷惑甚だしい料理店の主人なるもの大に注意を爲して可也(夜行隊)▲本町一丁目公益社に於て發明せし武田式經濟焚附火玉は簡易輕便價格低廉と云ふ詈いこと盡しだが未だ公然發賣しないのは何う云ふ譯けであるか(經濟生)

●天氣豫報 (自五月六日午後六時至六日午後六時)

北の風曇後晴

四日 最高溫度 七一、四 最低溫度 五四、九 (華氏)

廣告

●高野山の大法會 本町九丁目高野山にては來る九日十日の兩日は舊三月廿日廿一日に相當するを以て宗祖弘法大師正御影供の大法會を執行する由當日は例年の通り接待あり兩日共午後一時同七時より法樂説教あり歌和讃團向寄ある筈定めて參詣者多からん

●ペッセルの追弔會 韓人張志淵、金允[illegible]三、林炳恒等の發起にて五日午後三時より東門外の永道寺に於てペッセル追弔會を開きたるが來會者數十名ありたりと

[illegible]洲鐵道株式[illegible]丸を加へ姉妹兩船にて運航に從事することゝなれり今回發着日取及び鐵道との接續を改正すること[illegible]左の如し

外部に西京[illegible]月一日

神戸丸往航 毎水曜日大連を發し毎月曜日哈爾賓著の露國々有鐵道列車連絡毎金曜日上海著

神戸丸復航 毎日曜日(潮流の都合により土曜日)上海發毎火曜日大連著(土曜日發は月曜日著)直に其當日午前十一時を以て大連發の急行列車に依り水曜日哈爾賓[illegible]に接續

西京丸往航 毎日曜日大連を發し毎金曜日哈爾賓著日曜日午後大連著の萬國寢臺會社列車の貨客を載せ火曜日上海著

西京丸復航 毎木曜日上海發毎土曜日大連著毎日曜日午前十一時大連發急行列車に接續月曜日哈爾賓發モスコー行露國々有鐵道列車に接續

西京丸は五月一日(土曜)上海を發し九日(日曜)上海發より始めて前記日割に據る運航を行ひ神戸丸も兩船共最初は右の日取に據らず神戸丸は五月六日(木曜)上海發より運航を始むる筈なりと

●窪谷警視の任地 窪谷警視は佐賀縣警察部長に任命されたる事を命なりと



▲無料紹介欄▼

人事部

多少法律事務に心得ある事務員一人雇ひ入れたし希望者は午前九時前御越ノ事 明治町二の七五岩田辯護士(一二三三)

下女入用 年齢不問 **給金**働き次第 氏名在社(一二三二)

雇はれたし 家族少なき家を望む十九女(氏名在社)

十六七の職弟子入用 但し當地に確實なる保證人有者 明治町二丁目 衛生床(一二三五)

年十七高等小學卒業商店又は役所の給仕に致雇たし 氏名在社(一二三八)

年廿五体强簿記精通會社商店へ雇はれたし確實保證人あり給料多額を望まず 氏名在社(一二四〇)

中等教育有り七八年判任文官奉職何れにても雇はれたし給料望まず確實保證人あり 氏名在社(一二三九)

長崎縣人 **佐藤コノ** 上記の人住所御存知の方は乍御手數京城旭町一丁目池田質店迄御報を乞(一二四五)

年三十体强血正月收一〇〇相當の品格ある處女と結婚したし 氏名在社(三四六)

女中入用年齢問はず清潔好きの者身元保證人を要す 南山町一の四七 月報社篠塚

●雇入 十五歳以上二十歳以下丁稚至急入用 龍山元町三 日韓組

物件部

賣家 大和町三丁目土地百餘坪の建物あり官吏向に適し風景最もよし望の方は御來談あれ 社內 矢島

貸間 旭町一丁目至極便利の場所電話附(又は賄附にても)にて二間貸したし 氏名在社(一二三五)

貸家 若草町一溫突一間疊敷二間日本流押込二外に炊事場玄關井戸付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢島(一二四一)

貸家 若草町一溫突二間疊敷二間日本流押込付外に炊事場玄關井戸付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢嶋(一二四二)

貸家 若草町一溫突三間半疊敷一間炊事場押込付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢島(一二四三)

求貸家 西大門外西小門外方面なる四五十間の韓人家屋を格安にて貸受けたし 氏名在社(一二四七)

貸家 南大門附近目拔の場所總二階間數十六疊敷六十五造作敷金共百五十圓 旭町一の六十 旭町競賣所

廣告

大阪新報販賣店變更
新販賣店 大成社
舊販賣店 乙巳商行
右之通賣捌所を變更致し迅速確實に配達爲致可申候間一層御愛讀之程奉願上候尤も**四月分以降の集金**は大成社をして取扱はしめ候間左樣御了承置被成下候
五月三日
大阪新報販賣部

▲**清潔の下宿**▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町一丁目十番戶横小路(元花屋跡)
かめ屋
▲…り下宿▼

開業廣告

百花妍を競ひ温暖掬すべきの候各位益々清貎之段欣喜不斜候私共今般有志諸君の御贊助を得て大島町元魚市場跡を改築寄席に致し此の沒趣味なる地を花壇に勝さる樂園たらしめんと慮り御園館と命名し各位の遊覽場に當て五月三日より興業開始として源氏節三根松一座を招聘致し開演仕候間賑々敷御來臨の程奉希上候 頓首
龍山大島町
御園館
電話四二九番
主 敬白



最近新形インデペンデンス 詳細營業品目餘寸法用紙御報次第御送呈ス
甲革ハ柔軟ニシテ丈夫ナルクローム製Aボックスカーフ 金五圓 深ゴム靴同價
▲慶應義塾生諸君ノ御用品▼ 今般製出ヲ增加シ一般ノ御需用ニ應ジ候
慶應義塾御用
東京市芝區愛宕下町四丁目
龜田靴商店
振替貯金口座四二七八番 電話新橋三四〇二番

新荷着廣告

歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗、
G.D. 印トルコ金口煙草(百本入 十本入)
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
仁川本町一丁目
直輸入元 **トルコ煙草商會**
電話(七一五番)

●**廢物利用**●
一金口莨空箱買入れ申候
但百本入に限る
上等金口トルコ莨發賣所
京城本町四丁目
パチリス商會

土管瓦煉瓦

陶榮商店の販賣する土管は模範的工場に於て最新米國式機械を以て知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり
陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり
陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品として他に卓越せるは當販賣元の最も誇とする良品なり
右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候
京城本町二丁目
陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌
土管瓦煉瓦販賣元
㊗ **陶榮商店**
(電話百十三番)

營業科目

諸官衙御用品調達
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 各學校御用品調達

委托販賣

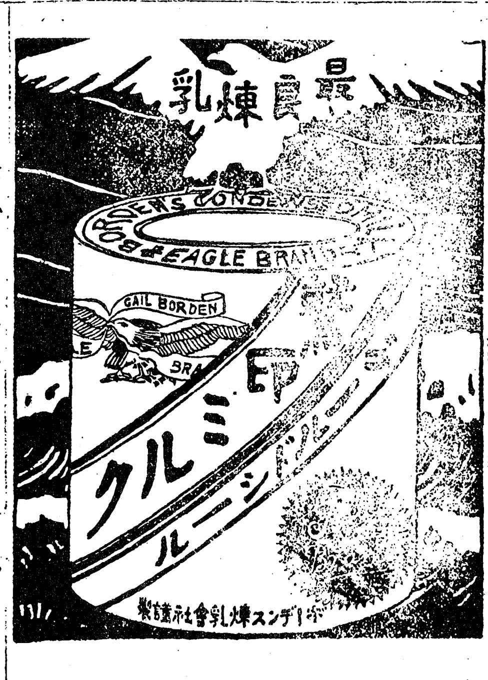
東京 ランパーゲ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
山口 臺灣合資會社食鹽特約店

本社 京城南大門通二丁目 電話一三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町二丁目十番地 電話新橋三六九二
藤田合名會社

開業御披露

壽し 巴
並に折詰御好次第
京城壽町一丁目
巴すし
(電話一〇一七番)

●正味十六オンスの容量あるは全國輸入の多數ミルク中驚印を措て他に求むる能はず





新築落成

開業御披露
當店儀昨年來櫻井町に於て營業罷在候處今般櫻井町に新築致居候家屋全部落成致候と同時に同日より開業致候間賑々敷御來臨の程奉希上候 謹言
別ピン數名新輸入致し五月一日より藝妓仲居等專ら下度奉希候
開業の祝として五月一日より三日間二割引
櫻井町九丁八 電話一七番
海山樓

待合 醉月
京城旭町二丁目 名古屋橫



通 E E

貨物運送取扱 危險擔保附運送 貨物引換證發行 稅關貨物取扱 代金付貨物運送
內國通運株式會社
京城南大門驛前 **京城支店** 電話七〇八番
仁川驛前 **仁川出張所** 電話五一二番
草梁驛前 **釜山出張所** 草梁驛前 釜山驛構 電話六一六番 電話三三七番
龍山驛構內 **龍山派出所** 電話二〇六番

新茶 各發御用 新茶及調進 … 電話六七〇番

東洋總代理店


藤原京城支店
電話 二一八一〇 九四一番

諸印入傘
並に提灯類
和洋蠟燭あり
京城明治町一丁目
大島商店

統監府御用
諸官衙入力車
荷物荷造及運搬
營業所 京城壽町(電話七三番)
本店 同本町三丁目(電話四〇番)
伊藤組

銘茶 …

◉氣候變化=牛乳
◉牛乳=純良=消毒
㊥ **韓國畜産株式會社**
南大門外(電話八八番)

日本郵船株式會社 汽船出帆廣告
仁川海岸通
貨物及船客取扱店
郡回漕店
電話三九番 電話十番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 五月 九日午後三時出
●大連、芝罘、牛莊行 高砂丸 五月二十七日正午時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 五月二十五日前五時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 五月 十三日正午出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 五月二十六日
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲二號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三番